

発生動向の概況

咽頭結膜熱(プール熱)は増加傾向です。6月中旬をピークに一度減少していましたが、7月に入り八幡浜地区で急増し、依然多発しています。今シーズンは第1~33週の定点当たり累積報告数が22.8人と、平成3年以降、最も大きな流行となった平成18年(第1~33週 定点当たり累積報告数33.1人)に次いで、2番目に大きな流行となっています。タオルの共用は避けて、うがい・手洗いを励行しましょう。また、症状消失後も約1ヶ月はふん便中にウイルスが排出されるといわれていますので、排泄物の処理には十分注意しましょう。手足口病は6月後半をピークに減少していますが、県内全域で散発が続き、減少傾向に鈍化が見られます。ヘルパンギーナ(夏かぜの一種)は県内全域で減少しています。

腸管出血性大腸菌感染症(O157)の届出が続いています。この疾患は例年夏場に患者数が増加する傾向があります。食中毒から身を守る3原則『清潔・迅速・温度管理』を守りましょう。肉やレバーは十分に加熱し、肉類の生食は避けましょう。小児、高齢者や抵抗力の弱い方は、特に注意が必要です。また、感染者から周囲の方への感染(二次感染)を起こさないように、手洗いはせっけんを使用して十分に行ってください。

愛媛県内で麻しん(はしか)が10歳代を中心に発生しています。麻しんウイルスは感染力が非常に強いため、うがい・手洗いなどの一般的な感染症予防では、十分な効果は期待できません。最も有効な予防方法は予防接種です。定期予防接種時期に達した方は早めに予防接種を受けましょう。予防接種については市町予防接種担当課までお問い合わせください。なお、愛媛県内の麻しん(はしか)発生状況は感染症情報センターホームページ(感染症情報センターホームページアドレス：<http://www.pref.ehime.jp/040hokenhukushi/140eikanken/kanjyo/index.htm> 『麻しん(はしか)情報』)に随時掲載しています。ご参照ください。

平成20年度 麻しん・風しんワクチン定期予防接種対象者(印は平成20年4月1日から新たに加えられた対象者)

- 第1期 : 生後12ヶ月以上24ヶ月未満の者
- 第2期 : 小学校就学前の1年間 H14.4.2~H15.4.1 生
- 第3期 : 中学校1年生に相当する年齢の者 H7.4.2~H8.4.1 生
- 第4期 : 高校3年生に相当する年齢の者 H2.4.2~H3.4.1 生

県内での感染症発生状況

全数把握感染症(結核は除く)

- 三類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 3例(全てO157)
- 五類感染症 : クロイツフェルト・ヤコブ病 1例(孤発性)
- 麻しん 4例(性別:男性3例、女性1例、年齢区分:全て10歳代)

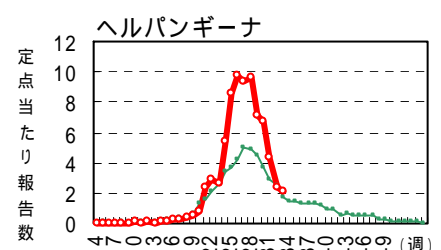
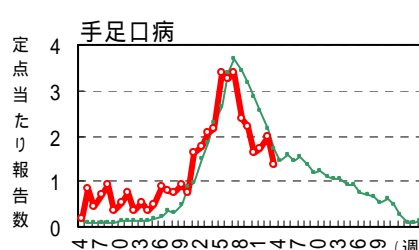
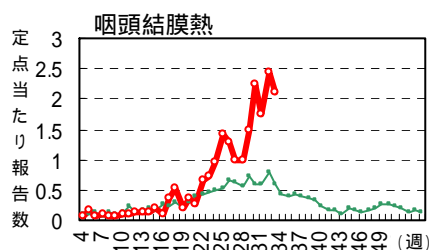
定点把握感染症(数字は最新週の定点当たり報告数、発生地区は保健所名を記載)

	愛媛県推移	県内の傾向
咽頭結膜熱	2.1	7月に入り八幡浜地区で急増し、依然多発している。
手足口病	1.4	県内全域で散発が続き、減少傾向に鈍化が見られる。
ヘルパンギーナ	2.1	6月下旬から7月上旬をピークに、県内全域で減少した。

解析評価委員のコメントから

- 咽頭結膜熱 : 少しみられます。結膜炎のないものもあります。(東予)
やや増加しています。結膜炎が強い症例が目立ちます。(中予)
- 手足口病 : 減少しています。(東予、中予)
- ヘルパンギーナ : 減少しています。(東予、中予)

過去30週の動向 (: 過去30週の動向、 : 過去10年の平均)



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。
感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.jp までお願い致します。

病原体検出情報

今年度に入ってから、コクサッキーウイルス B5 型が松山市、今治及び宇和島地区の無菌性髄膜炎、熱性疾患及び上・下気道炎等各種疾患から検出されていましたが、第 30 週には、今治地区で採取された無菌性髄膜炎患者から初めてエコーウイルス 30 型が検出されました。

気道疾患では、耳下腺炎、溶レン菌咽頭炎患者からそれぞれ病原体が検出されています。アデノウイルスが主病因である咽頭結膜熱患者の検体はほとんど搬入されていませんが、第 29 週に搬入された下気道炎及び熱性疾患患者からアデノウイルス 3 型が検出されています。

と畜場ブタ血清の日本脳炎ウイルス抗体保有状況調査では、8 月 6 日、13 日とも HI 抗体は検出されず、県内での日本脳炎ウイルスのブタへの侵淫は遅いようです。

愛媛県におけるブタの日本脳炎ウイルス抗体保有状況
 HI抗体：ブタが日本脳炎ウイルスに感染した事があるかがわかります。
 2ME感受性抗体：最近感染したかどうかわかります。

採血月日	検査頭数	HI抗体陽性数 ¹⁾	2ME感受性抗体	
			検査件数 ²⁾	陽性数
7月 7日	20	0	-	-
7月 18日	20	0	-	-
7月 28日	20	6(30%)	4	1(25%)
8月 6日	20	0	-	-
8月 13日	20	0	-	-

1) HI抗体価は1:10以上を陽性とししました。

2) 2ME感受性抗体は、HI抗体価が1:40以上であった検体について検査しました。

過去5週 検出病原体

(7月14日以降採取検体)

週	期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
29	7/14 ~ 7/20	今治	感染性胃腸炎	ノロ	糞便	1
			上気道炎	コクサッキーB5	咽頭ぬぐい液	1
		松山市	感染性胃腸炎	カンピロバクター	糞便	1
			流行性耳下腺炎	ムンプス	咽頭ぬぐい液	1
			下気道炎	アデノ3	咽頭ぬぐい液	1
			不明熱	コクサッキーB5	咽頭ぬぐい液	1
			不明熱	アデノ3	咽頭ぬぐい液	1
30	7/21 ~ 7/27	今治	無菌性髄膜炎	エコー 30	糞便	1
		松山市	溶レン菌咽頭炎	A群溶レン菌	咽頭ぬぐい液	1

月別病原体検出結果

検出病原体	検体採取月		2008					合計
	3	4	5	6	7	8		
ウイルス	コクサッキーA10			1			1	
	コクサッキーB5		5	2	7	3	17	
	エコー 30					1	1	
	インフルAソ連	1					1	
	インフルA香港	3		1			4	
	インフルB	3					3	
	ムンプス				1		1	
	ロタ	10	16	1	1		28	
	ノロ	18	7	7	4	1	37	
	サポ	3	1				4	
	アデノ	1	1	3	1		6	
	アデノ1		2			1	3	
	アデノ2	2					2	
	アデノ3			1	1	3	5	
アデノ5			1			1		
単純ヘルペス1	1					1		
ウイルス計	42	32	16	15	10	115		
細菌	下痢原性大腸菌			1			1	
	カンピロバクター				1		1	
	A群溶レン菌	4	3	3	5	1	16	
	G群溶レン菌					1	1	
	百日咳菌			5			5	
	細菌計	4	3	8	6	3	24	

臨床診断名別検出結果 (2008年6月以降採取検体)

検出病原体	溶レン菌咽頭炎	感染性胃腸炎	流行性耳下腺炎	無菌性髄膜炎	下気道炎	上気道炎	不明熱	合計
コクサッキーA10						1		1
コクサッキーB5				3		2	5	10
エコー 30				1				1
ムンプス			1					1
ロタ		1						1
ノロ		5						5
アデノ		1						1
アデノ1					1			1
アデノ3					1		3	4
ウイルス計		7	1	4	2	3	8	25
下痢原性大腸菌		1						1
カンピロバクター		1						1
A群溶レン菌	6							6
G群溶レン菌	1							1
細菌計	7	2						9

愛媛県 定点把握五類感染症 2008年 第 33 週 (2008.8.11 ~ 8.17)

患者報告数		1) インフルエンザ	小児科定点									眼科定点		基幹定点							
			R S ウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	3) マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
保健所別	四国中央			2		7	4	1		2		1						1		四国中央	
	西条			1	2	16	4	9		8		12								西条	
	今治			4	1	10	6	5		5	1	11		5						今治	
	松山市			28	3	41	3	15		12		26	6	6	-	-	-	-		松山市	
	松山			10	3	8	1	11		6		8	1	1						松山	
八幡浜				29	3	1	3	9	2	3		10	3	1						八幡浜	
	宇和島			4	1	3	6	1	3		8	1								宇和島	
週推移	愛媛県			78	13	86	27	51	2	39	1	76	11	13				1		愛媛県	
	1週前			90	18	142	28	73	2	50		87	24	39			2	2		1週前	
	2週前	1		65	27	138	38	64	1	40	2	160	38	28				3		2週前	
	3週前			83	31	152	67	60	1	53	3	250	21	26			2			3週前	
年齢別	0-5ヶ月			1		1				1								1		0	
	6-11ヶ月			1		4	1	4		22		11								1-4	
	1			4		11	2	19	2	15	1	18								5-9	
	2			11	1	18	8	8		1		16	3							10-14	
	3			17	1	10	8	5				16	2							15-19	
	4			15	3	8	3	6				4	2							20-24	
	5			9	1	9	5	4				2	1	1						25-29	
	6			11	1	7		2				4	1							30-34	
	7			4	2	3						3								35-39	
	8			3		4			1											40-44	
	9			1		2						1								45-49	
	10-14			1	3	6		2				1	2							50-54	
	15-19																				55-59
	20-29 ⁴⁾				1	3								1							60-64
	30-39													4							65-69
	40-49																				70-
50-59													2								
60-69													1								
70-79 ⁵⁾													4								
80-																					

年齢別（基幹定点疾患）

定点当たり報告数

保健所別	四国中央		.7		2.3	1.3	.3		.7		.3		-	-			1.0		四国中央	
	西条		.2	.3	2.7	.7	1.5		1.3		2.0									西条
	今治		.8	.2	2.0	1.2	1.0		1.0	.2	2.2		5.0							今治
	松山市		2.5	.3	3.7	.3	1.4		1.1		2.4	.5	2.0	-	-	-	-			松山市
	松山		2.5	.8	2.0	.3	2.8		1.5		2.0	.3	1.0							松山
八幡浜			7.3	.8	.3	.8	2.3	.5	.8		2.5	.8	1.0							八幡浜
	宇和島		1.0	.3	.8	1.5	.3		.8		2.0	.3								宇和島
愛媛県			2.1	.4	2.3	.7	1.4	.1	1.1	.0	2.1	.3	1.6				.2			愛媛県

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。 3) オウム病を除く。
 4) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 5) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は8月21日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2008年 第 32 週 (2008.8.4 ~ 8.10)

患者報告数		1) インフルエンザ	小児科定点										眼科定点		基幹定点				四国中央 西条 今治 松山市 松山 八幡浜 宇和島	
			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎		3) マイコプラズマ肺炎
保健所別	四国中央			1		9	3	4		5			1					2		
	西条			3	5	40	3	16		12			20	1						
	今治			11	4	16	2	1		6			16		12					
	松山市			39	5	59	9	26	2	13			26	11	15	-	-	-	-	
	松山			15	3	7	5	15		5			10	1	2					
週推移	愛媛県			90	18	142	28	73	2	50			87	24	39		2	2		
	1週前		1	65	27	138	38	64	1	40	2	160	38	28				3		
	2週前			83	31	152	67	60	1	53	3	250	21	26			2			
	3週前			55	36	158	47	82		57	1	262	26	24	1	2	1			
年齢別	0-5ヶ月			1		1				3		1								0
	6-11ヶ月			4		12		4		31		8						2		1-4
	1			8	1	28	8	10		15		16	2				1			5-9
	2			11		17	5	21		1		19	2	1		1				10-14
	3			17		18	7	16	1			15	2	2						15-19
	4			17	4	14		12	1			18	11	2						20-24
	5			15	4	10	3	3				4	3							25-29
	6			7	3	9	3	4				3	1							30-34
	7			3	3	8		1				1		2						35-39
	8			2		5						1	3	1						40-44
	9			1	1	6		2				1		2						45-49
	10-14			3	1	11	2							3						50-54
	15-19													1						55-59
	20-29 ⁴⁾			1	1	3								5						60-64
	30-39													7						65-69
40-49													2						70-	
50-59													4							
60-69													5							
70-79 ⁵⁾													2							
80-																				

定点当たり報告数

保健所別	四国中央		.3		3.0	1.0	1.3		1.7			.3	-	-			2.0			四国中央
	西条		.5	.8	6.7	.5	2.7		2.0		3.3	.2								西条
	今治		2.2	.8	3.2	.4	.2		1.2		3.2		12.0							今治
	松山市		3.5	.5	5.4	.8	2.4	.2	1.2		2.4	1.0	5.0	-	-	-	-			松山市
	松山		3.8	.8	1.8	1.3	3.8		1.3		2.5	.3	2.0							松山
愛媛県	八幡浜		5.3		2.5	.8	2.8		1.8		1.8	2.0	10.0							八幡浜
	宇和島			.3	.3	.8		.5		2.0	.5				2.0					宇和島
愛媛県			2.4	.5	3.8	.8	2.0	.1	1.4		2.4	.6	4.9		.3	.3				愛媛県

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。 3) オウム病を除く。
 4) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 5) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は8月18日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 全数把握感染症 第32、33週 (2008.8.4～8.17)

類 型 疾病名	二類		三類感染症					四類感染症													五類感染症																														
	(1)急性灰白髄炎	(2)結核	(1)コレラ	(2)細菌性赤痢	(3)腸管出血性大腸菌感染症	(4)腸チフス	(5)パラチフス	(1)E型肝炎	(3)A型肝炎	(4)エキノкокクス症	(6)オウム病	(10)Q熱	(12)コクシジオイデス症	(18)つつが虫病	(19)デング熱	(23)日本紅斑熱	(24)日本脳炎	(28)ブルセラ症	(30)発疹チフス	(32)ポツリヌス症	(33)マラリア	(34)野兔病	(35)ライム病	(39)レジオネラ症	(40)レプトスピラ症	(1)アメーバ赤痢 (E型及びA型肝炎を除く)	(2)ウイルス性肝炎	(3)急性脳炎	(4)クリプトスポリジウム症	(5)クロイツフェルト・ヤコブ病	(6)劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7)後天性免疫不全症候群	(8)ジアルジア症	(9)髄膜炎菌性髄膜炎	(10)先天性風しん症候群	(11)梅毒	(12)破傷風	(13)球菌感染症	(14)バンコマイシン耐性腸球菌感染	(14-2)風しん	(14-3)麻しん										
第32・33週報告数	愛媛県	7		3																										1																4					
	保健所別	四国中央																																																	
		西条	1																																																
		今治	1		3																																													1	
		松山市	4																													1																	3		
		松山																																																	
		八幡浜	1																																																
宇和島																																																			
週推移	愛媛	33週	4		2																																													2	
		32週	3		1																																														2
		31週	9		1																										1																				6
		30週	4		1																																														1
2008年累積数	愛媛県	164		1	27										1									3		7	2		1	1	5							6	1				1		28						
	保健所別	四国中央	13																																																
		西条	25		1																																														4
		今治	14		1	10																									1	1																		2	
		松山市	68			9																				2		4				1	3																	19	
		松山	7																												1		1																	2	
		八幡浜	21																																																
宇和島	16			7											1									1		1																						1			

・表中の報告数は医療機関からの届出数を保健所ごとに集計したもので、患者の住所を示すものではありません。
 ・医療機関からの報告日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2008.8.20集計)

全国 定点把握感染症 第31、32週 (2008.7.28 ~ 8.10)

(定点当たり報告数)

	1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点				
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	3) クラミジア肺炎	
31週	愛媛県	.0	1.8	.7	3.7	1.0	1.7	.0	1.1	.1	4.3	1.0		3.5			.5		
	近畿県	香川県		.8	.3	4.1	.2	2.3		.7	.0	1.9	.1		.7				
		徳島県	.1	1.1	.5	2.7	1.0	2.1		.8	.0	3.7	.1		.8				
		高知県		.9	.5	3.1	.6	.7	.0	.5		1.2	1.9		1.3			.3	
	全 国	.0	.1	.8	1.0	.9	2.9	.1	.8	.0	3.2	.6	.0	.9	.0	.1	.4	.0	
	北海道		.2	.7	1.4	1.1	2.3	.1	.7		2.1	.1		.8			.1		
	東北	.0	.1	.5	.9	2.4	1.4	.2	.8	.0	6.0	.4	.0	.9	.0	.0	.7	.1	
	関東	.0	.0	.8	1.3	2.9	.9	2.5	.1	.8	.1	4.2	.5	.0	1.1	.0	.3	.0	
	甲信越北陸		.1	.9	.9	2.7	.9	5.5	.1	.7	.1	3.7	.3		.6	.1	.0	.2	.1
	東海	.0	.0	.6	1.0	3.1	.8	4.1	.0	.9	.0	3.0	.9		.5	.0	.1	.4	
近畿	.0	.1	.8	.9	3.2	.7	2.3	.0	.7	.0	2.8	.5	.0	.7		.1	.3		
中国四国	.0	.0	.9	.8	3.7	.7	2.3	.0	.8	.1	2.1	.4	.0	1.2		.0	.3		
九州沖縄	.1	.5	1.2	1.0	4.0	.9	3.5	.1	1.1	.0	1.2	.9	.1	1.6	.0	.1	.4		

(2008.8.6集計)

32週	愛媛県		2.4	.5	3.7	.8	1.9	.1	1.4		2.3	.6		4.9		.3	.3		
	近畿県	香川県	.1	1.4	.4	3.4	.3	1.9		.8		1.4	.1		1.0				
		徳島県	.1	.7	.4	2.1	.7	1.6		1.0		2.7	.2		.5				
		高知県		.7	.3	3.0	.3	.4		.5	.1	.9	1.5		1.0				
	全 国	.0	.1	.8	.9	2.9	.7	2.6	.1	.8	.0	2.5	.5	.0	.9	.0	.1	.4	.0
	北海道		.1	.5	1.0	1.0	.6	1.9	.2	.6	.0	2.0	.3		.3			.1	
	東北	.1	.1	.4	.8	2.3	.7	1.4	.1	.8	.0	5.4	.4	.0	.9	.0	.0	.8	.1
	関東	.0	.1	.8	1.0	2.6	.6	2.1	.1	.8	.0	2.9	.5	.0	1.1	.0	.1	.3	.0
	甲信越北陸	.0	.0	.8	.9	2.7	.7	6.3	.2	.8	.1	3.1	.3	.0	.5		.0	.3	.1
	東海	.0	.0	.7	.7	2.9	.6	3.2	.0	.9	.0	2.0	.7	.0	.5		.1	.2	
近畿	.0	.1	.9	.8	3.2	.7	2.0	.1	.7	.0	2.2	.4	.0	.5		.1	.4	.0	
中国四国	.0	.0	1.0	.7	3.7	.6	2.2	.1	.9	.0	1.5	.4	.0	1.1		.1	.3	.0	
九州沖縄	.1	.5	1.3	.9	3.9	.7	3.3	.1	.9	.0	1.1	.9	.1	1.5	.0	.1	.4		

(2008.8.13集計)

1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除く。

2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

3) オウム病を除く。

全国 全数把握感染症 第31、32週 (2008.7.28 ~ 8.10)

疾病名	二類		三類感染症					四類感染症													五類感染症																					
	(1) 急性灰白髄炎	(2) 結核	(1) コレラ	(2) 細菌性赤痢	(3) 腸管出血性大腸菌感染症	(4) 腸チフス	(5) パラチフス	(1) E型肝炎	(3) A型肝炎	(4) エキノコックス症	(6) オウム病	(10) Q熱	(12) コクシジオイデス症	(18) つつが虫病	(19) デング熱	(23) 日本紅斑熱	(24) 日本脳炎	(28) ブルセラ症	(30) 発疹チフス	(32) ボツリヌス症	(33) マラリア	(34) 野兔病	(35) ライム病	(39) レジオネラ症	(40) レプトスピラ症	(1) アメーバ赤痢 (E型及びA型肝炎を除く)	(2) ウイルス性肝炎	(3) 急性脳炎	(4) クリプトスポリジウム症	(5) クロイツフェルト・ヤコブ病	(6) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7) 後天性免疫不全症候群	(8) ジアルジア症	(9) 髄膜炎菌性髄膜炎	(10) 先天性風しん症候群	(11) 梅毒	(12) 破傷風	(13) ウルコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	(14) パンコマイシン耐性腸球菌感染症	(14-2) 風しん	(14-3) 麻しん	
第31・32週報告数	全 国	664	5	10	464		1	2	3						4	3				1				34	27	6	3	1	4	1	33	2			16	5		3	6	83		
ブロック別	四 国	愛媛県	8		2																																				8	
	香川県	1		2																1																						
	徳島県	4		1																																						
	高知県	2																																								
	北 海 道	16		1	5			1																2	1																	
	東 北 関 東	69	3	58											1									8	1				1								1				1	
	甲信越北陸	245	1	4	88										2									12	11																	50
	東 海 近 畿	26	1	1	31																			2	1																3	
	中国四国	80			54																			5	1																	4
	九州沖縄	83		1	78										1									4	8	2	3															11
週推移	全 国	32週	333	5	5	235		1	2	1					4	1							21	14	3	2		2	1	18					6	1		3	2	33		
31週	331		5	229																1			13	13	3	1	1	2	15	2				10	4			4	50			
30週	231	1	14	117	2	1			5						1					2			7	10		1			8				5	3					53			
29週	278	1	6	121	1	1								1	2	1				1			27	14	1			4	1	24	3			10	2			3	71			
2008年累積数	全 国	15825	31	178	2064	30	21	31	111	8	5	2	1	121	41	27		2		26	4	3	528	3	527	139	118	4	98	73	901	49	10		496	67		53	258	10585		
ブロック別	四 国	愛媛県	159		25											1							3	7	2				1	5					6	1			1	26		
	香川県	109		13																1			4	3		1			9					6				1	10			
	徳島県	129		6												2							2	1					2					1	1			1	3			
	高知県	97		4												1							5			3	2			3				3	3				1	5		
	北 海 道	1	412		6	30	2		12	2	7													17	13	2	8		1	1	14	1	1		8	5		4	11	1442		
	東 北 関 東	1085	3	7	198			2	11		3	1	54	3						1	3			45	26	4	6	1	8	2	19				18	7		1	9	284		
	甲信越北陸	5582	17	80	413	15	11	10	44		1	1	1	13	21	2		1			17	1	1	140	1	218	38	30	2	34	25	472	32	4	189	17		25	89	6178		
	東 海 近 畿	757	5	10	216			1	2						14	2					1			60	23	7	6		8	6	22	2		14	5		2	16	136			
	中国四国	2066	1	11	234	4	3	3	10						4	5	1		1		2			81	57	12	10		13	9	100	2		83	9		10	25	484			
	九州沖縄	2488	1	24	368	7	6	1	24		1				1	6	3				1			101	125	40	29	1	15	15	164	8	3		56	4		5	38	774		
九州沖縄	1388		4	183	1			10						9		12				2			54	29	20	12		7	5	50	3		36	7		3	33	347				
九州沖縄	2047	4	36	422	1	1	2	8	1				26	4	9					2		1	30	2	36	16	17		12	10	60	1	2	92	13		3	37	940			

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

・2008年5月12日からの法改正に伴い、疾病の名称及び並び順を一部変更しました。

(2008.8.13集計)